



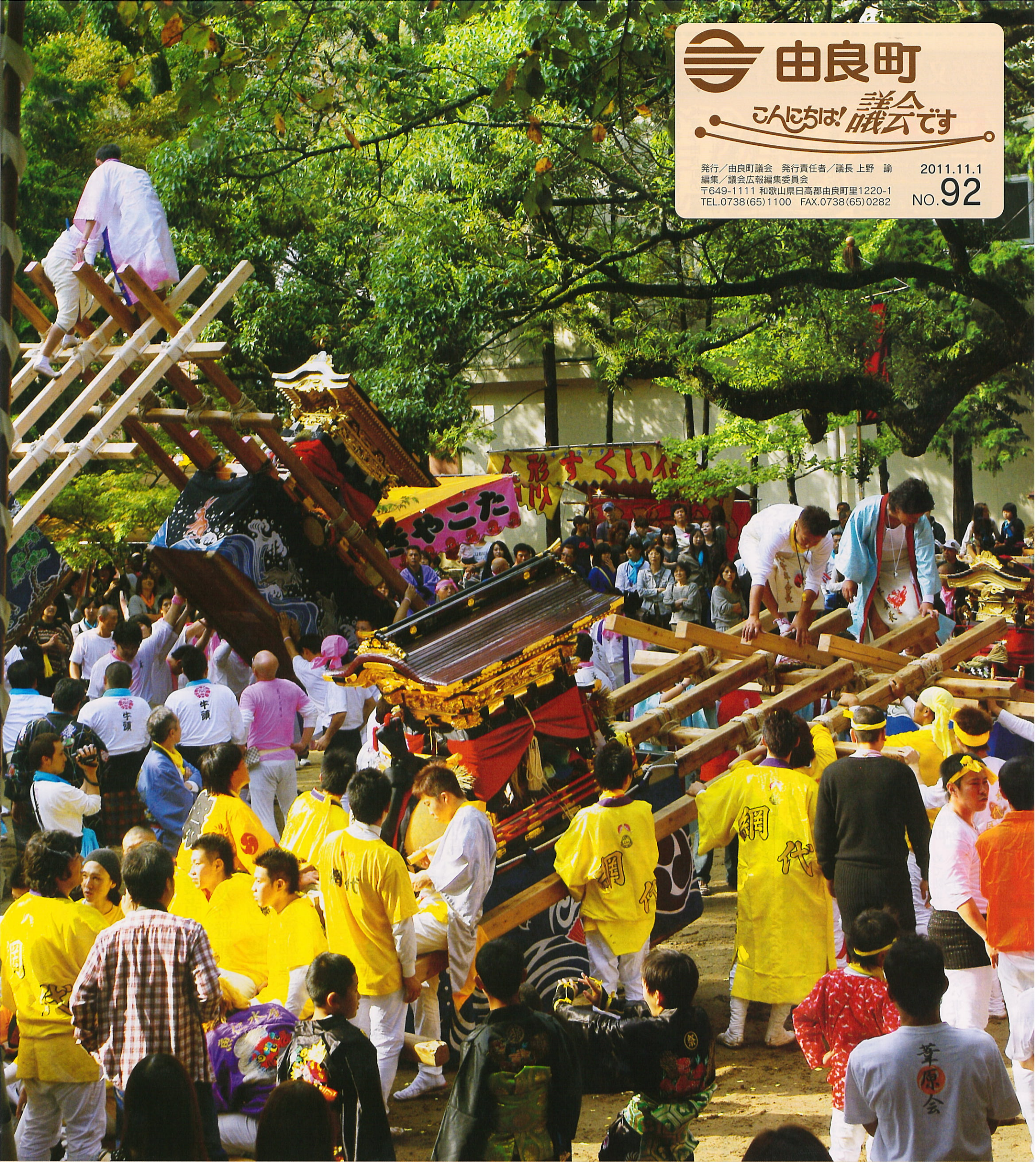
由良町

こんにちは! 議会です

発行/由良町議会 発行責任者/議長 上野 諭
編集/議会広報編集委員会
〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL.0738(65)1100 FAX.0738(65)0282

2011.11.1

NO. 92



台風12号において
被災された皆様方に心から
お見舞い申し上げます。

総務文教・産建厚生常任委員会 合同視察

福島県



10月12日（水）に福島県、福島市中央卸売市場の福島中央青果卸売(株)に議員9名と畑中町長、総務課職員、JAグリーン日高、三橋常務、ゆら選果場・数見場長に同行していただき視察研修を実施しました。

3・11東日本大震災、福島原子力発電所の事故による被害に対してお見舞いをし、長年に渡り由良町の農産物を販売していただいているお礼を申し上げました。

ゆら選果場の主要取引市場である福島県の実況を聞き、震災による被害に加えて風評被害による影響が報告されました。

由良町の農業を守るために町議会、JA選果場一致団結してがんばり、市場関係者のますますの販売努力をお願いしてきます。



2歳児の学習風景

せいがん幼稚園

この度、宮城県多賀城市にある「せいがん幼稚園」へ視察へ行ってきました。この幼稚園は、幼児教育の2歳から13歳までが重要と考え、「すべての子供は天才である」ことを信念とし、子供の才能を引き伸ばす教育を目指して、「心の力」「学ぶ力」「体の力」の3つを掲げた「ヨコミネ式教育法」を取り入れた教育をしていました。

先生も一生懸命に指導をし、子供達もそれを受けて真剣に取り組んでいる姿は感動しました。

「ヨコミネ式」

由良町の将来の保育行政に充分参考になった視察でした。

宮城県 多賀城市

東日本大震災の被災地 岩手県山田町を視察

- 視察日 平成23年10月14日
- 視察者 由良町議会全員協議会
- 山田町の概要 岩手県陸中海岸のほぼ中央に位置
人口19,270人 面積263.45km²
生産量日本一の殻付きカキ、品質日本一の肉厚乾シイタケなどが有名
- 東日本大震災による被災状況
 - 死亡者数 730人
 - 家屋倒壊数 3,304戸
 - 安否不明者 43人 (10月6日現在)
 - 居室家屋全体の54.2%
 - 仮設住宅 1,940戸、4,400人
 - 漁船総数 2,138隻 (残った漁船548隻)



当日、山田町執行部、議会副議長、議員らから詳しい被災時当日の状況、被害の状況、従来の防災計画の反省、見直し、さらには今後の復旧・復興計画・財政運営等々映像を見ながら説明を聞き、質問を含め意見交換をしました。

その後、議会議員、町職員の案内で町内を視察。被災場所を見るたびに、議員から被災当日の状況説明を聞くたびに、皆声がでなくなりました。それほど被災地の現場は凄まじかった。

高さ6.5m、幅6m以上、長さは集落全体を囲む全長約1km近くある「防潮堤」が積み木のごとく、集落側に倒れ、その集落のほとんどが津波によって流され、家の「基礎」だけが残っている……という状況でした。

また、ある小学校は学校として適地と思われる海拔25mの高台に建設されていたが、津波で校舎の2階まで浸かった。児童は背後地の山に避難し全員無事であったそうです。

色々な現場を視察し、被害の大きさと我が町の防災計画を思った時、参加した議員全員が改めて防災について早急に見直しを含め、取り組んで行かなければならない事も再確認しました。被災地の日も早い復旧・復興を祈ります。

9月定例会

9月12日～22日開会

平成23年度一般会計補正予算 「防災」を中心に

1億4,600万円追加

(総額38億1,060万円)



防災
問 災害時の給水タンクや仮設トイレをどう考えているのか?
答 (参考) 災害が起こった場合の検討課題と考えています。

災害
問 台風12号により、幹線道路が通行止めになりました。応急的な補修ではなく、抜本的な対処を望みます。
答 (産業建設課長) 災害状況を県の方へ報告し、修繕などの協議を行い、強く要望していきます。

一、防災関連補正予算

- 県補助金を活用した防災関連事業 全体事業費 **2,640万円**
 - 災害時要援護者支援システムの整備
 - 一時避難場所及び避難道路の整備
 - 津波ハザードマップ修正業務
 - 防災行政無線放送施設子局の整備
 - 防災関係資機材購入等
- ### 二、災害関連補正予算
- 全体事業費 **1億1,646万円**
 - 台風及び豪雨災害による災害復旧事業
 - 緊急対策工事及び道路整備

つれもていこら!



11月20日に開催予定です。
今回は、2015年度の「紀の国わかやま国体」に向けた、デモンストラションとして大々的に行います。
町内外へ広く募集しています。
皆様も、是非この機会にウォークラリーの楽しさを味わってください。
●詳しい問い合わせは「由良町教育委員会」
TEL 65-118000まで

第18回ウォークラリー大会へ

「日高川町へボランティア活動」

今回は、9月3日の台風12号で甚大な被害を受けた日高川町へ、議会有志5人と事務局3人、合計8人で9月27日にボランティア活動して来ました。

普段、スコップなんか持つことがない人間が多い中、畑に入って水路に流れ込んできた大量の泥を取り除き、みんな泥だらけ、汗だくになり頑張っていました。



由良の家計簿 総額 62 億円

平成 22 年度

決算認定

平成 22 年度一般会計 歳入歳出決算内容

歳入 36億9,241万円
歳出 35億8,530万円
1億711万円(黒字決算)

*内4,900万円を基金へ繰り入れへ

歳出内容内訳

①款 議会費	6,275万円
②款 総務費	5億5,447万円
③款 民生費	9億5,373万円
④款 衛生費	5億5,800万円
⑤款 農林水産費	1億9,455万円
⑥款 商工費	5,156万円
⑦款 土木費	1億8,237万円
⑧款 消防費	1億7,871万円
⑨款 教育費	4億 452万円
⑩款 災害復旧費	2,257万円
⑪款 公債費	4億 1,458万円
⑫款 緒支出金	751万円
⑬款 予備費	0円



監査委員の審査意見

監査委員 神田耕一・馬場博文

平成22年度の決算では、教育施設の整備や公共下水道事業を中心とする都市基盤整備、消防・防災対策事業などが実施されており、住みよい町づくりのために積極的に取り組まれている。
第4次由良町総合計画の基本構想に基づき作成された後期基本計画に沿って、住民ニーズに的確に対応した社会資本の整備、福祉施策の充実、地域の特色を生かした活力ある町づくりを目指して、限られた財源の有効かつ適切な活用に留意しつつ、より高い行政水準を堅持するために、創意工夫を凝らし取り組まれることを期待する。
また、今後予想される地震等の大規模災害に備え、防災体制、対策の更なる充実強化を検討されたい。

一般会計

歳入 36億9,241万円

収入未済額は?

問 収入未済額について、学校給食費17万6千円、町営住宅588万1千円、保育料62万円になっていますが、世帯数、対象者数、どう対応しているのか?

答 (教育課長) 学校給食費は19世帯25名です。(住民福祉課長) 保育料は16件です。

(参考) 町営住宅については本人と確約書を交わし徴収の努力をしています。

歳出 35億8,530万円

高規格道路を

問 県の高規格道路建設促進委員会での会議では、どのような話し合いがされているのか?

答 (町長) 国道42号線だけでは、命の道を確保路が必要ではないかと考えます。今回の台風12号の被災地支援の際、ボランティアの方々が支援物資を那智勝浦や新宮への輸送がもっとスムーズに出来たように思われます。国道や主要県道これらが網の目になって、はじめて道路が生かされると思います。

サルやインシシは減らせないので?

問 鳥獣害対策で行政が頑張っても、サルやインシシが減らないのが現実ですが?

答 (産業建設課長) 地域における取り組みとして、平成22年度から環境対策整備事業で、3地区で樹木の伐採、放任果樹の伐採、山際の樹木の伐採、及び緩衝帯の設置を行いました。

23年度も5地区を予定しています。また、サルの捕獲技術について、農水省からアドバイザーを呼び講演して頂き、個体を減らしたいと思っています。



災害用非常食の備蓄を

問 災害用非常食の備蓄を高台に置く場所を考へるべきだと思いますか?

答 (参考) 現状については、役場の3階の和室に非常食を置いてあります。高台には、最適だとは思っていませんが、今後検討します。

特別会計決算

国民健康保険

歳入 9億6,870万円
歳出 9億6,745万円

後期高齢者医療

歳入 1億7,224万円
歳出 1億7,103万円

介護保険

歳入 6億 733万円
歳出 6億 687万円

公共下水道事業

歳入 4億 102万円
歳出 4億 19万円

漁業集落環境整備事業

歳入 1億9,729万円
歳出 1億9,668万円

水道事業

収入 2億6,189万円
支出 2億7,440万円

問 21年度の有収水量率が86%で、22年度は2.5%下がったのはなぜか?

答 (水道工務班長) 大きい漏水箇所があり補修する間に水が抜けた分と只越配水池の流量計が老朽化で故障して、大きな漏水になったものと思われま

一 般 質 問

避難対策の見直しは？ 一時避難場所・避難路の見直し、変更・追加をする



藤田 富三 議員

問 東日本大震災後の避難対策の見直しは？

答 (町長) 海岸線を有する15里区は一時避難場所・避難路の見直し・変更・追加はします。他の自主防災組織からの要望は、今回、早期に対応できる部分について修正予算に計上しています。

国においては、4月27日から関西大学の河田恵昭教授を座長とする「中央防災会議」で「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」を立ち上げ、9月10日までに合計9回議論を重ねています。今後、地

公平で開かれた 農業委員会を 公職選挙法に基づく



由良 守生 議員

問 農業委員は、もう長年月選挙がない。農家には、農業委員会に関する情報がない。

是非、すべての農家にコミュニケーションして欲しい。農業を取り巻く社会を一緒になって考えて欲しい。幅広い人材を確保するようにして欲しい。農家が、共通の話題として希望を持って話れるような話し合えるような選挙であって欲しい。

震推定津波の被害を把握分析して対策の方向性を見出し、防災基本計画の見直しなどの最終報告を10回目の専門調査会でまとめられる予定です。

いつも皆様方へお願いしています。「自分の命は、自分で守る」という意識を持って避難行動をし、2〜3日分の飲料水や非常食を確保して頂きたいという事です。それ以降は、町・県・国が全力で救助救援に取り組みます。3日間は、自助・共助の中で生き延びる強い意志を持って立ち向かって頂きたいと思えます。

防災教育は？ 東日本大震災の 教訓を生かす

問 防災教育についての答弁を。

答 (教育長) 本年度の教育委員会の重点目標の一つにあげている、東日本大震災の教訓を生かし各小中学校の避難場所・防災教育訓練の充実を指示しています。金石市の「津波防災教育の取り組み」を参考に、各学校の実態に合ったマニュアル作りや避難訓練



答 (町長) 農業委員会の選挙は、公職選挙法に基づいて選挙管理委員会が執行しています。農業委員会は、法律に基づいて独立した執行機関とされています。

(産業建設課長) 委員会構成は、選挙による委員8人、町議会推薦委員3人、農業団体推薦の3人の合計14人です。

農業発展のため、地域の農業者と農業委員が農業経営・農業基盤整備等について議論をし、コミュニケーションを深める事は大切なことであると考えています。農業委員の立候補者は告示日に分かり、当選人は、広報しています。

の実施に努めていきます。(他の質問) ●広報ゆらのアンケート結果は ●全国で毎年増え続けている医療費と由良町との比較 ●土曜日保育実施について

水の配布体制の 確立を 備蓄用のタンクや ポリ袋を確保している



川出 純 議員

問 災害時の、水の配布体制の確立は急務だと考えます

高齢者福祉と 介護予防について 第5期保健福祉計画の 見直し



中村 森 議員

問 現在、由良町の人口は6,700人を切った状況です。

10年後には、日本の人口層が一番多い団塊の世代が75歳以上の後期高齢者の仲間入りをする。家族の方々が、精神的・肉体的に大変辛い思いをされているのがお年寄りの介護です。介護サービスの充実が、待たないです。

しかし、介護サービスを充実すればするほど介護保険料や国保税に跳ね返り、町民負担が重くのしかかります。私は、負担軽減を解消するには予防事業しかないと思います。



ので具体案を示してください。また、避難場所の確保は災害対策としては重大であり、災害用の必需品の備蓄用の倉庫を高台に設置する必要があるのではないかと？

答 (町長) 水の確保については1tタンク8個・0.5tタンク2個・18ℓタンク50個・6ℓポリ袋1,300個備蓄しています。備蓄用の倉庫については、適当な場所に整備していきます。

放射能測定器購入を 購入は必要ないと 考える

問 福島第一原子力発電所の事故で全国的に放射能汚染の不安が広がっています。由良町も放射能測定器を購入して役場に設置すべきではないかと？

答 (町長) 3月18日から環境衛生研究センターで、空間放射線量率の測定に加え、定時、降下物と浄水の放射性物質については、測定をおこなっています。町で測定器を購入して測定を行う必要はないと考えています。

消防団の 「マニュアル」 作りが必要 作成に向けて検討します



玉置 一郎 議員

問 3月11日の東日本大震災から半年が過ぎました。総務省消防庁のまとめでは、東日本大震災で犠牲になった消防団員は、岩手県が119人、宮城県が107人、福島県が27人の、合わせて253人にのぼっています。

いつ東南海・南海地震が起こるかも知れないことを考えると、消防団員の皆さんが安心して活動できる整備を整えるべき時期に来たと思えます。

現在の由良町消防団の組織状況・配備状況・整備状況の答弁と、消防団員の方々が安心して救助支援できる態勢を講じるための「マニュアル」作りが必要と思えますので答弁を求めます。

答 (町長) 8月末現在、団長以下、3分団(16班)155名で組織しています。消防車は、各班に配備されポンプ車が4台と可搬式小型ポンプ積

人事
由良町教育委員会委員長任期満了に伴い、
神谷38番地の2の
岩崎 正氏
の選任に同意しました。

編集後記

災害の多い年であった。日本列島を地震・津波、台風・洪水が襲った。由良町議会も、日高川流域、東北地方へと視察し見聞を広めた。大自然の前に、人間の営みのはかなさよ。南海地震は、必ず来ます。皆さん、ご用心、ご用心。(由)

戦車が12台の合計16台を保有しています。火災時の筒先とポンプ側の連絡用の無線機は、小型省電力トランシーバーが8台配備されています。が、今後、昨年度、各区に配備した「簡易無線型」の無線機を導入できないか検討していきます。消防団員は、大災害・非常災害が発生時、俊敏な判断と臨機に行動を起こす必要がある場合もあるため、「マニュアル」作成に向けて検討していきます。



議会広報編集委員会
委員長 神田 勉
副委員長 吉田ひとみ
委員 由良 守生
山名 実
中村 森
馬場 博文
玉置 一郎